

平成 29 年 10 月 19 日

# テニスボールの輸入について

- 神戸港は、数量、金額とも日本一の輸入港
- 神戸港の全国シェアは 9 年連続で第 1 位



神戸港とともに 150 年  
神戸税関

## 1 はじめに

野球のボールは白、サッカーボールは白と黒、バスケットボールはオレンジのようにスポーツのボールにはイメージカラーがありますよね。では、テニスボールと言えば？黄色いボールをイメージするのではないのでしょうか。昔のテニスボールは白一色だったそうですが、テニスコート上では黄色いボールが認識しやすいとして 1960 年代に広まり始め、カラーテレビの普及からテレビへのボール映りのよさもあり、黄色いテニスボールが定着したそうです。また、他の多くの球技用ボールとは異なる特徴として、テニスボールの表面はフェルトで覆われています。このフェルトはメルトンと呼ばれるもので、ボールの耐久性を高め、反発力を抑えるためのものだそうです。



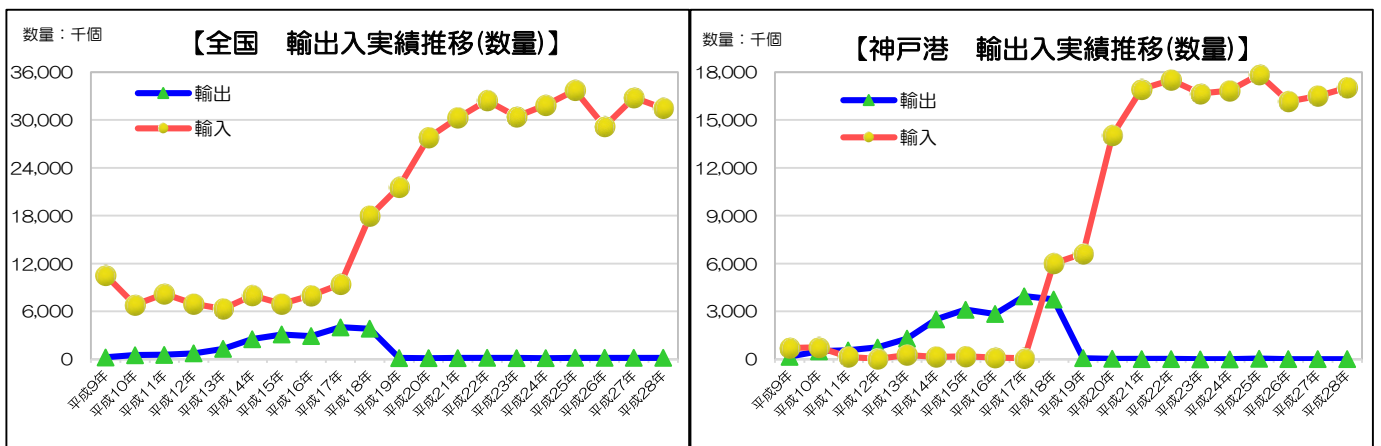
今回は、神戸港で多く輸入されている「テニスボール」について取り上げました。

※本稿の「テニスボール」は、輸入統計品目番号 9506.61-000 を指します。

## 2 輸出入実績推移

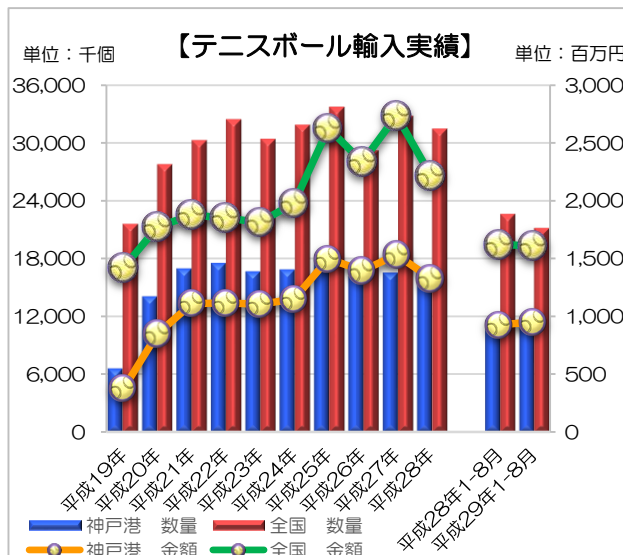
過去 20 年の輸出入実績の数量推移を見ると、全国、神戸とも平成 17 年まで輸出は増加傾向にありますが、輸入では大きな動きがありません。

しかし、平成 18 年に全国、神戸とも輸入が急激な増加を示した一方で、輸出は減少に転じました。同じ時期に輸出入の動きが反転することとなった要因として、この頃に、国内から海外へ生産拠点を移す動きがあったことが挙げられます。



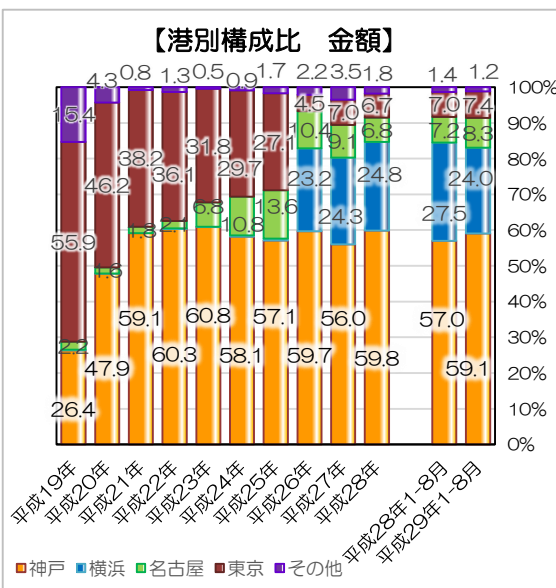
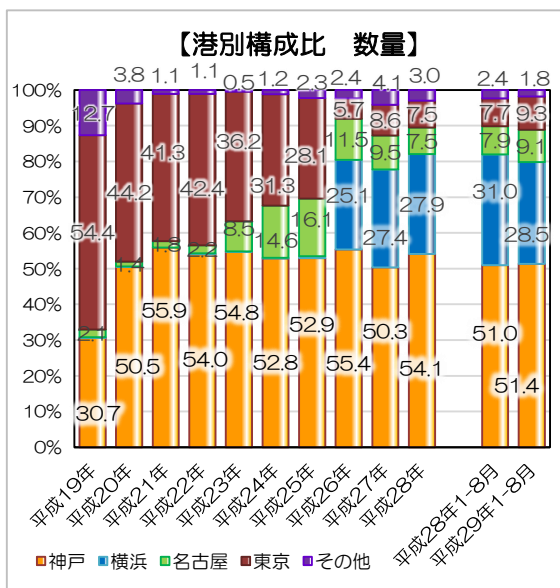
平成 28 年の全国の輸入実績は、数量が 3,148 万個(前年比 95.9%)、金額が 22 億 1,800 万円(前年比 81.0%)と数量、金額とも減少しました。

神戸港の輸入実績は、数量は 1,702 万 2,000 個(前年比 103.1%)、金額では、13 億 2,800 万円(前年比 86.6%)となり、数量が増加し、金額では減少しました。



### 3 港別輸入実績

平成 28 年の港別輸入実績では、神戸港は、全国比で数量 54.1%、金額 59.8%と過半を占める全国 1 位となっており、平成 20 年以降では 9 年連続で全国 1 位の輸入港となっています。神戸港が多く利用される要因としては、神戸港と関係企業や物流倉庫の立地する距離的な近さ、外国貿易船の航路の充実による利便性の高さが考えられます。

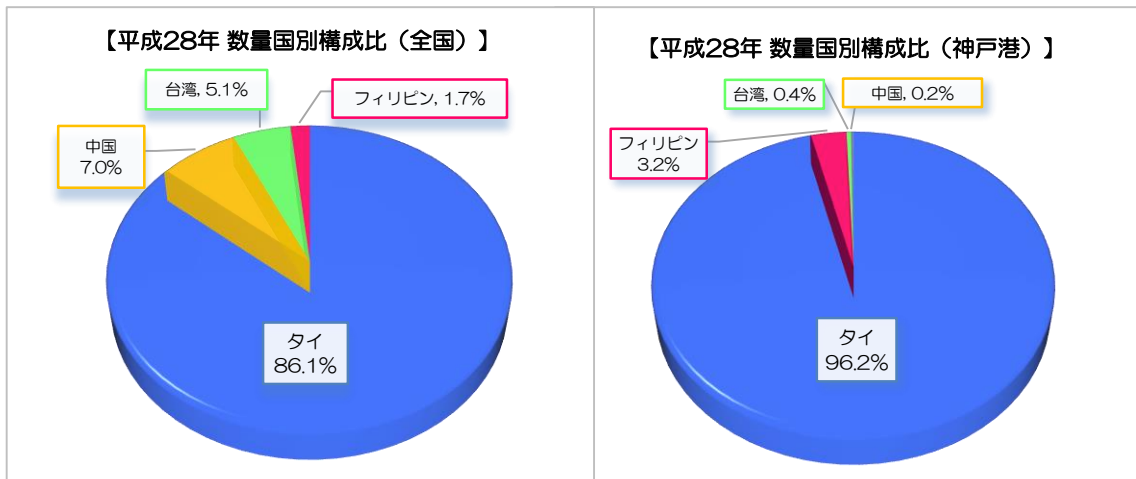


### 4 国別輸入実績

平成 28 年の国別輸入実績では、輸入相手国の第 1 位はタイで、輸入数量のうち全国で 86.1%、神戸港では 96.2%を占めています。その他の国では、全国では第 2 位 中国(7.0%)、第 3 位 台湾 (5.1%)、第 4 位 フィリピン (1.7%)と続きます。神戸港では第 2 位 フィリピン (3.2%)、第 3 位 台湾 (0.4%)、第 4 位 中国 (0.2%)と続き、全国と神戸港では 2 位以降の順位は異なりますが構成国は同じで、アジア地域からの輸入が中心です。

タイは、テニスボールのコアと呼ばれる中空のゴム球の主要原材料となる天然ゴムの世界的な産地で、また、テニスボール表面に使用されるフェルトの生産も多く行われており、それらのことからテニスボール製造が盛んであり、全国、神戸港での輸入数量のシェアの高さの要因

となっているようです。



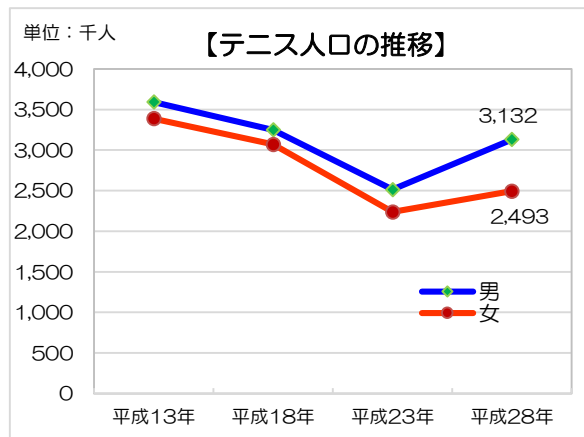
## 5 おわりに

日本のテニスの始まりと言われる明治時代は、テニス用具は輸入品で高価であったため、一部の人たちだけが楽しむ娯楽だったそうです。現在は、子供用として大きさや重さ、弾み方に違いを持たせ、成長に合わせて使い分けられるボールも製造されており、幅広い年代で安全に楽しめる配慮をした用具が充実するまでになりました。テニスは、子供から高齢者までが楽しむ生涯スポーツの一つと言えるのではないのでしょうか。

国内のテニス人口の推移を見ると、平成13年から平成23年の10年間は減少傾向で推移していましたが、その後、平成28年まで増加傾向で推移しています。しかしながら、少子化



の影響や若い人が行うスポーツの多様化から、今後のテニス人口の増加は見込まれないのではないかというのが業界の見通しです。そのため、国内のテニス用品市場は緩やかに減少していくものと思われそうですが、今後は海外市場の伸びに期待しているそうです。



出典：「平成13～28年社会生活基本調査結果」（総務庁統計局）

参考文献：「ボールのひみつ」（榊新星出版社）

本資料を転載するときは「神戸税関」の資料による旨を注記して下さい。  
 なお、本資料のお問合せは、  
 神戸税関調査部調査統計課 TEL (078) 333-3065  
 「神戸税関ホームページ」のアドレス <http://www.customs.go.jp/kobe/>

## テニスボールの輸入数値表

○テニスボールの輸入実績推移

(数量単位：千個、金額単位：百万円)

年	神戸港						全国					
	数量			金額			数量			金額		
		前年比	全国比		前年比	全国比		前年比		前年比		
平成19年	6,620	110.2%	30.7%	375	117.9%	26.4%	21,589	120.2%	1,421	133.3%		
平成20年	14,041	212.1%	50.5%	849	226.3%	47.9%	27,786	128.7%	1,774	124.8%		
平成21年	16,934	120.6%	55.9%	1,110	130.8%	59.1%	30,288	109.0%	1,876	105.8%		
平成22年	17,508	103.4%	54.0%	1,117	100.6%	60.3%	32,440	107.1%	1,851	98.7%		
平成23年	16,652	95.1%	54.8%	1,104	98.8%	60.8%	30,411	93.7%	1,814	98.0%		
平成24年	16,832	101.1%	52.8%	1,152	104.4%	58.1%	31,864	104.8%	1,981	109.2%		
平成25年	17,845	106.0%	52.9%	1,499	130.2%	57.1%	33,724	105.8%	2,628	132.7%		
平成26年	16,167	90.6%	55.4%	1,394	93.0%	59.7%	29,204	86.6%	2,336	88.9%		
平成27年	16,509	102.1%	50.3%	1,533	109.9%	56.0%	32,810	112.3%	2,738	117.2%		
平成28年	17,022	103.1%	54.1%	1,328	86.6%	59.8%	31,480	95.9%	2,218	81.0%		
平成28年1-8月	11,545	105.1%	51.0%	925	86.7%	57.0%	22,646	103.9%	1,622	85.2%		
平成29年1-8月	10,869	94.1%	51.4%	952	102.9%	59.1%	21,162	93.4%	1,611	99.3%		

○テニスボールの港別数量実績推移

数量	全国	神戸港		横浜港		名古屋港		東京港		その他	
			全国比		全国比		全国比		全国比		全国比
平成19年	21,589	6,620	30.7%	39	0.2%	455	2.1%	11,735	54.4%	2,740	12.7%
平成20年	27,786	14,041	50.5%	11	0.0%	390	1.4%	12,289	44.2%	1,055	3.8%
平成21年	30,288	16,934	55.9%	-	0.0%	533	1.8%	12,494	41.3%	326	1.1%
平成22年	32,440	17,508	54.0%	108	0.3%	722	2.2%	13,744	42.4%	358	1.1%
平成23年	30,411	16,652	54.8%	13	0.0%	2,576	8.5%	11,013	36.2%	156	0.5%
平成24年	31,864	16,832	52.8%	59	0.2%	4,647	14.6%	9,960	31.3%	367	1.2%
平成25年	33,724	17,845	52.9%	191	0.6%	5,442	16.1%	9,468	28.1%	777	2.3%
平成26年	29,204	16,167	55.4%	7,320	25.1%	3,365	11.5%	1,654	5.7%	699	2.4%
平成27年	32,810	16,509	50.3%	8,996	27.4%	3,126	9.5%	2,830	8.6%	1,348	4.1%
平成28年	31,480	17,022	54.1%	8,797	27.9%	2,359	7.5%	2,368	7.5%	934	3.0%
平成28年1-8月	22,646	11,545	51.0%	7,011	31.0%	1,798	7.9%	1,750	7.7%	542	2.4%
平成29年1-8月	21,162	10,869	51.4%	6,022	28.5%	1,923	9.1%	1,969	9.3%	378	1.8%

○テニスボールの港別金額実績推移

金額	全国	神戸港		横浜港		名古屋港		東京港		その他	
			全国比		全国比		全国比		全国比		全国比
平成19年	1,421	375	26.4%	3	0.2%	31	2.2%	794	55.9%	218	15.4%
平成20年	1,774	849	47.9%	1	0.0%	29	1.6%	819	46.2%	76	4.3%
平成21年	1,876	1,110	59.1%	-	0.0%	34	1.8%	717	38.2%	16	0.8%
平成22年	1,851	1,117	60.3%	4	0.2%	38	2.1%	668	36.1%	24	1.3%
平成23年	1,814	1,104	60.8%	2	0.1%	123	6.8%	577	31.8%	8	0.5%
平成24年	1,981	1,152	58.1%	7	0.4%	215	10.8%	589	29.7%	18	0.9%
平成25年	2,628	1,499	57.1%	14	0.5%	357	13.6%	712	27.1%	45	1.7%
平成26年	2,336	1,394	59.7%	542	23.2%	243	10.4%	106	4.5%	51	2.2%
平成27年	2,738	1,533	56.0%	666	24.3%	250	9.1%	192	7.0%	96	3.5%
平成28年	2,218	1,328	59.8%	551	24.8%	151	6.8%	149	6.7%	40	1.8%
平成28年1-8月	1,622	925	57.0%	446	27.5%	116	7.2%	113	7.0%	22	1.4%
平成29年1-8月	1,611	952	59.1%	386	24.0%	134	8.3%	119	7.4%	19	1.2%

○テニスボールの国別輸入実績（平成28年）

全国					神戸港				
国名	数量		金額		国名	数量		金額	
	2016年	構成比	2016年	構成比		2016年	構成比	2016年	構成比
タイ	27,113	86.1%	1,935	87.2%	タイ	16,374	96.2%	1,266	95.4%
台湾	1,619	5.1%	117	5.3%	フィリピン	540	3.2%	52	3.9%
中国	2,195	7.0%	113	5.1%	台湾	69	0.4%	6	0.5%
フィリピン	540	1.7%	52	2.4%	中国	27	0.2%	2	0.1%
インドネシア	12	0.0%	1	0.0%	インドネシア	12	0.1%	1	0.1%
アメリカ	2	0.0%	0	0.0%	全国計	17,022	100.0%	1,328	100.0%
全国計	31,480	100.0%	2,218	100.0%					